



# FAX COVER LETTER

日本モンキーセンター

学芸員 赤見理恵

園長 加藤章

送信先 報道各位

---

送信枚数 本紙を含めて 3枚

---

送信日 2013年 7月 15日

---

## 大型類人猿の脱出を想定した 対応訓練を実施します。

真夏のような暑い日が続きますが、皆さまお元気でお過ごしのことと拝察いたします。

さて、日本モンキーセンターでは今年も大型類人猿脱出時対策訓練を実施いたしますので、お知らせいたします。

東海地方を中心に大きな地震が発生することが想定されています。また火災、集中豪雨など様々な自然災害を前に、人間の無力さを実感せざるを得ない出来事も少なくありません。日本モンキーセンターの飼育施設は十分な強度がありますが、万一のことを想定し、このような脱出時対策訓練を毎年実施しています。

**実施日** : 平成 25 年 7 月 16 日(火) 雨天決行

**時間** : 13:00~13:40

**参加者** : 動物園全職員(約 30 名)

**想定** : アフリカセンターよりニシゴリラ(体重約 180kg)が逃走。捕獲班、誘導班、救護班等に分かれニシゴリラの捕獲とお客様の誘導、救護をおこなう。

※脱出するゴリラは、飼育スタッフが扮します。脱出場所と捕獲場所の 2 か所のみが決められており、あとは全力で、自由に逃走します。

※ゴリラの握力は 800kg 以上、両腕を広げると 2.8m にもなります。このゴリラに似せるため、ゴリラに扮するスタッフは両手にこん棒を持ち振り回します。これに当たったスタッフは「負傷」したことになります。

※途中、シナリオにはない(スタッフには知らされていない)緊急事態も発生し、本番さながらにおこないます。

※捕獲場所と時間のみ決まっています。13:30 にビクターセンター前の広場で捕獲されますので、捕獲するシーンを撮影していただけます。

日本モンキーセンターは、飼育中のゴリラを人為的ミスにより脱走させ、入園者に怪我を負わせてしまった悲しい過去があります。このような事故を二度と起こさないため、私たちは毎年 2 回の訓練に真剣に取り組んでおります。

1回はある程度の想定を元に、ほぼ全職員が参加して実施する総合訓練です。もう1回は計画担当者1名以外、想定はもちろん日程も時間も知らされず、突然実施します。休みの職員は携帯電話などでモンキーセンター到着までの時間を報告するなどして、よりリアルなデータを収集し、万が一に備えます。

今回の訓練は「総合訓練」になります。総合訓練では30名以上の職員が参加します。各員は避難誘導、救護、捕獲や連絡など、それぞれの役目に応じて訓練に参加、問題点の洗い出しなどを行います。捕獲にはサスマタ、捕獲ネット、催涙スプレー、麻酔銃などを用います。（※麻酔銃は法律により模擬銃を使用します。）

脱出したゴリラ役がどのような行動をとるか、基本的にはシナリオはありません。開始と終了の時間、最終地点はおおよそ設定し、途中の経路や反撃の程度はゴリラ役の職員に一任します。

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26

財団法人日本モンキーセンター

TEL : 0568-61-2327 FAX : 0568-62-6823

担当：学芸員 赤見理恵、主任学芸員 高野智、園長 加藤章

お電話が通じない夜間は、info@j-monkey.jp までメールにてご連絡ください。営業終了後の夜間もお答えしております。